目次

イントロダクション

コマツレポートについて 2
創業の精神 3
私たちのアイデンティティ 4

トップメッセージ

社長メッセージ 5

価値創造ストーリー

価値創造の歴史 10
価値創造プロセス 12
一目でわかるコマツ 13
事業概要 15
マテリアリティ 19

成長戦略

CFOメッセージ 22
中期経営計画(2025～2027年度) 28
社会課題解決KPI 32
特集1:プロジェクトストーリー
自動化・遠隔操作化で切り拓く未来 34
特集2:プロジェクトストーリー
現場の知見をつなぐAI 39
研究開発戦略 43

サステナビリティ

サステナビリティ基本方針 46
サステナビリティマネジメント 47
<人と共に>
人的資本 48
ビジネスと人権 52
<社会と共に>
製品安全性の向上 53
社会貢献活動 54
<地球と共に>
地球環境問題への取り組み 55

ガバナンス

取締役会議長メッセージ 61
社外役員対談 62
役員一覧 66
コーポレートガバナンス 69
リスクマネジメント 77
情報セキュリティ 79
コンプライアンス 80
ステークホルダーの皆さまとの対話 81

Data

11年サマリー 82
会社情報 83

インタラクティブPDFの利用方法について

各ページ上部メニューから各セクションに遷移することができます。また、各ページ右上にナビゲーションボタンを設けています。

- ⌂ ..... 目次ページに遷移することができます。
- ⮌ ..... 一つ前に操作したページに戻ります。
- ← → ..... 前後のページに遷移することができます。

そのほか、各ページに設置されているリンクボタンから参照ページに遷移することができます。

- Web ..... 記載内容に関連する外部ページに遷移することができます。
- P.00 ..... 記載内容に関する当レポート内での関連ページに遷移することができます。

コマツレポートについて

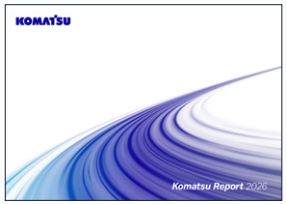
■ 本報告書の位置付け

コマツレポート（統合報告書）は、投資家・株主をはじめとするステークホルダーの皆さまに向けて発行している年次報告書です。
当社グループのサステナビリティを重視した経営と成長戦略の進捗状況について、財務情報と非財務情報の両方の観点から、わかりやすくご説明することを目的に作成しています。

中長期視点

実績

財務情報



▶コマツレポート（統合報告書）

コマツの持続的成長を目指した取り組みをご紹介するレポート

▶有価証券報告書

事業概況および連結財務諸表を
含む財務内容を中心とする報告書

▶決算短信

経営成績や財務状況などをまとめた報告書

非財務情報

▶コーポレートガバナンス報告書

コーポレートガバナンス・コード
（企業統治指針）に基づく報告書

▶ESG データブック

ESG に関する活動実績を
網羅的にまとめた報告書

■ 編集方針

報告対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日
・最新の状況をご報告するため、報告対象期間以降の活動内容も記載しています。
・当レポートに記載している「2025年度」および「2026年3月期」は、特に記載のない限り、2025年4月1日から2026年3月31日までの期間を示しています。

報告対象組織

・株式会社小松製作所およびグループ会社

参照ガイドライン

・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
・経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」など

見通しに関する注記事項

当レポートに記載されている将来の業績に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績はさまざまな要因の変化により、記載されている予想、計画、見通しとは大きく異なることがありますことをご了承ください。要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行の変更などが挙げられます。

創業の精神

コマツの創業者・竹内明太郎（1860年～1928年・高知県宿毛市生まれ）は、1894年に父と共に竹内鉱業を創立し、鉱山経営を行っていました。1900年にパリ万博を訪れ、ヨーロッパ諸国の工業技術の先進性を目の当たりにし、日本における機械工業の重要性を強く認識します。その後、「工業を発展させずして国家の発展はない」との信念のもと、鉱山経営から機械工業経営に重きを置くようになり、1917年に当時経営していた石川県小松市の遊泉寺銅山向けの鉱山機械を製作する目的で、今のコマツの前身となる小松鉄工所を設立します。その後、1921年に竹内鉱業傘下から独立し、小松製作所が誕生します。

当時、コマツが掲げた創業の理念は、前身の小松鉄工所での「良品に国境なし」という考え方を受け継ぎ、品質第一、技術革新、人材の育成、海外への雄飛というコンセプトでした。

このように、竹内明太郎は、世界を見据えた企業づくりを志し、機械工業の発展と人材育成に生涯をささげました。この高い志と技術革新に挑戦し続ける創業者の姿勢は、コマツの価値観として、今も社員に引き継がれています。コマツはこれからも、「品質と信頼性」を追求し、社会を含むすべてのステークホルダーからの信頼度の総和を最大化することを経営の基本とし、事業活動を通じて社会に貢献していく経営姿勢を堅持していきます。

当時の遊泉寺銅山。手前の建物群は工作場で、鉱山内の機械の修繕や鉱車の製作などを行っていました。
後に小松鉄工所から小松製作所になりました。

Web 遊泉寺銅山ものがたりパーク

私たちのアイデンティティ

事業のグローバル化が進み、ステークホルダーや社員の多様化が進むなかで、コマツが大事にするもの、これから目指すものを明確にすることで、
グローバルで一貫性のある企業活動を展開していきます。

私たちの存在意義

事業の目的（ミッション）と目指す未来像（ビジョン）

**ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、
人、社会、地球が共に栄える未来を切り拓く**

私たちの価値観

堅持する姿勢

挑戦する

高い志を持ち、失敗を恐れることなく、革新のために挑戦し続ける

やり抜く

困難にあっても決して諦めず、責任を持って最後までやり遂げる

共に創る

多様な価値観や個性を認め合い、互いに敬意を持ち、Win-Win精神で協働することで新たな価値を創出する

誠実に取り組む

常に誠実に正しく行動し、信頼される存在であり続ける

私たちの約束

コマツはお客さまと共に持続可能な社会のために新たな価値を創り出します
（パートナーシップを大切にするコマツの想いをtogetherのデザインに込めています）

Creating value together

戦略と行動指針

共通認識を持って業務を遂行するための支えとなるもの

戦略

経営の基本
「品質と信頼性」を追求し、社会を含むすべてのステークホルダーからの信頼度の総和を最大化する。
コマツが経営を遂行する際の基本的な姿勢を示します。

経営戦略
経営の基本と社会的責任をベースに、新たな価値創造を通じた社会課題の解決と収益向上の好循環による持続的な成長に向けて、中期経営計画「Driving value with ambition 価値創造への挑戦」（2025～2027年度）を推進しています。

社会的責任
コマツの社会的責任は、「事業活動を通じて社会の要請に応えていく活動」を行い続けることです。

行動指針

創業の精神
創業者の竹内明太郎（1860年～1928年）は、創業の精神として「海外への雄飛」「品質第一」「技術革新」「人材の育成」を掲げました。現在もコマツのDNAとして、私たちに受け継がれています。

コマツウェイ
私たちの価値観を行動様式として体系化したものが「コマツウェイ」です。創業者の精神をベースに、先人たちが築き上げてきたコマツの強さ、強さを支える信念、基本的な心構えと持つべき視点を定めました。

コマツの行動基準
「品質と信頼性」を追求し続けるコマツグループの社員として、世界のどこにいても守るべきビジネス社会のルールを示したものです。